



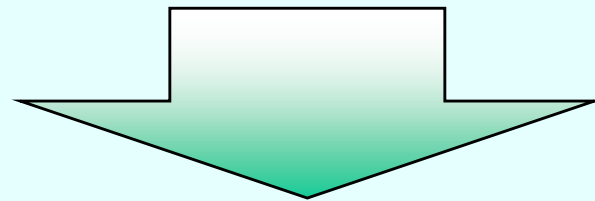
21世紀土地改良区創造運動について

全国水土里ネット

I. 21世紀土地改良区創造運動について 運動の概要

1. 運動の背景

- (1) 都市化、混住化等の農村社会の著しい変貌 → 土地改良施設の円滑な管理に支障
- (2) 農業農村の多面的機能 → 国民の理解は思うように進展せず



21世紀土地改良区創造運動 (H13~)
(時代とともに、地域とともに歩む土地改良区の創造)

- 土地改良区(水土里ネット)の役割の重要性
- 農業農村の有する多面的機能

} **国民の理解の醸成**

2. 運動の目的

- (1) 地域の社会資本としての土地改良施設を地域住民・行政と一体となって**管理する体制の構築**
- (2) 水土里ネットが**地域資源の管理団体、地域づくりの拠点**としての認知
- (3) 農業農村の有する**多面的機能の重要性に対する国民的理解の獲得**

3. 運動の主体

全国の水土里ネット

(償還業務のみを行っている水土里ネット及び休眠水土里ネット(全水土里ネットの2割)以外は運動を展開)

4. 運動の手法

- (1) 水土里ネット自体が自らの役割を再認識 **(内部運動)**
- (2) 水土里ネットのこれまでの役割と新たな役割を地域住民、国民へPR **(外部運動)**

5. 運動の展開方向

- (1) 水土里ネットの歴史、社会環境、組織体制、運営基盤等は千差万別
- (2) それぞれの水土里ネットの状況に応じた運動の展開
(身の丈に合った運動を推進し、現状より一步前進)
- (3) 農地・農業用水等の資源保全施策への対応

農村社会の変貌
(都市化・混住化等)

土地改良法の改正

- 環境配慮
- 住民参加と地域連携
- 土地改良施設の適切な管理保全
- 農業農村の多面的機能の発揮

農業の構造改革
(米政策改革・産地づくり等)

新しい食料・農業・農村
基本計画

21世紀土地改良区創造運動

(H13~)

土地改良区(水土里ネット)

- これまでの役割と、今後果たすべき役割の確認
- 国民に期待される新たな役割の実践

- 地域住民の参画
- 地域との交流
- 地域農業の振興や資源保全への更なる貢献

連携

支援

土地連(都道府県水土里ネット)
全土連(全国水土里ネット)

行政

運動の具体的な取り組み内容

内部運動 自らの役割の再認識

- 自己診断
- 研究・研修
- 事例集等の作成・配布
- W. G. による運動方針の検討

愛称の活用・普及

- 土地改良区等関係者の投票により決定(H14. 10月)
- 活用状況 2,316(41%) (H17.4)

外部運動 地域・国民の理解を獲得

- 地域住民との交流促進
- 情報発信、広報の推進
 - ・総合教育への参画
 - ・施設見学等の開催
 - ・住民参加による施設の管理
 - ・イベント、ワークショップによる都市農村交流

(水土里ネットの意味)

「水」・・・・・・・・農業用水、地域用水など

「土」・・・・・・・・土地、農地、土壌など

「里」・・・・・・・・農村空間。農家や地域住民が一体となった生活空間など

『水土里ネット』・・以下のような意味合いを包含しており、将来に向けた土地改良区の役割と姿を表現

水ネット

全国の40万km（地球10周分）に及ぶ水路等のネットワークによって農村の健全な水循環を形成。

土ネット

農村で発生する有機性資源（集落排水汚泥等）の農地への還元など、廃棄物のリサイクルによる資源循環を通じ、循環型社会の構築に取り組む。

里ネット

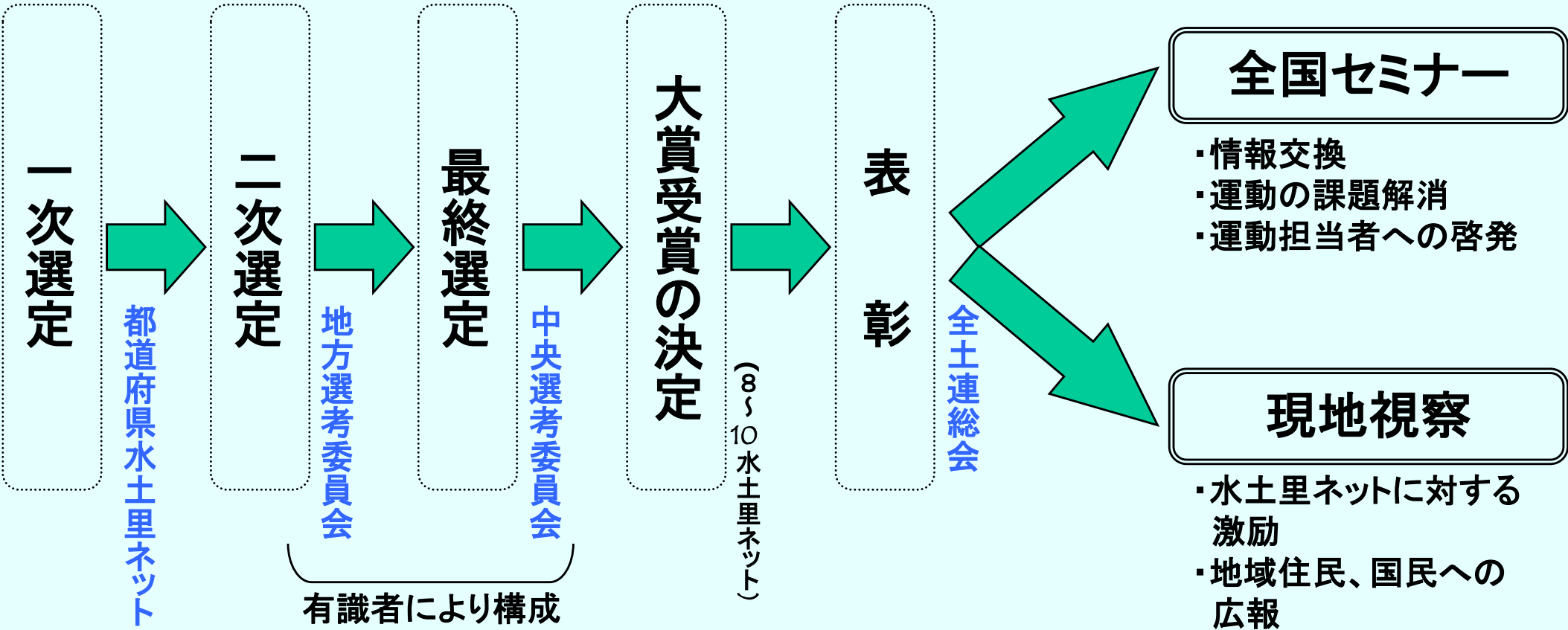
人、物、情報のつながりにより、農家のみならず、地域住民や都市住民と連携（ネットワーク）して「水」、「土」、「里」を創造し、都市と農村の共生対流を促進。

21 創造運動表彰制度の実施(H15～)

(目的) 全国の模範となる又は示唆を与える運動を展開している水土里ネットを表彰することによって

- ① 受賞者に対するねぎらい
- ② 他の水土里ネットの運動意欲の向上
- ③ 情報交換による運動方法の伝授
- ④ 国民への広報

(表彰制度の流れ)



21 創造運動大賞の選考基準

1. 運動の取り組み体制

- ①役職員ともに、運動を積極的に推進する意志と姿勢。
- ②組織が一丸となった運動への取り組み。
- ③組合員の運動に対する理解の浸透。

2. 運動の意味性

- ①明確な基本理念を持った取り組み。
- ②運動の理念が、地域住民や広く国民に明確に伝わるような取り組み。
- ③持続可能な(地道で無理のない)運動。
- ④歴史や先人等の想いが伝わる運動。
- ⑤農業振興を含めた本来業務に関し、先駆的な取り組みの展開。

3. 運動の継続性・発展性

- ①単発的な活動に終わるのでなく、継続的な運動としての展開。
- ②運動内容が徐々に発展・拡大(「一步の踏みだし」)。
- ③計画性(運動目標、各種運動の位置づけ)のある運動の展開。
- ④運動の成果の発現の有無。(当該水土里ネットの基礎体力に応じた結果の発現。)

4. 運動の連携性

- ①他の組織との多様かつ有機的な連携と外部にも開かれた運動の展開。
- ②多様なツールを活用しつつ運動の積極的なPR。